

# 平成28年度当初予算案の概要



平成28年2月

船橋市



## I はじめに

平成28年度の予算編成につきましては、本市の抱える諸課題を重点的かつ計画的に解決するため、「後期基本計画」の「めざすまちの姿」で示す6つの取り組みを着実に実施するとともに、施策を進める上で重点としている「子どもたちの未来につながる施策の推進」、「船橋の持つ力をさらに伸ばすこと」、「一体感を育むまちづくりの推進」を念頭に置き、「人と人をつなぐこと」を基本的な柱として予算配分を行いました。

また、平成28年度は、「新しいまちづくり」への挑戦の年と位置付け、本市が将来にわたって活力あるまちであり続けるため、「海老川上流地区のまちづくり」に着手してまいります。

## II 予算案の全体像

### 【平成28年度当初予算】

平成28年度の一般会計の予算規模は、2,122億5,000万円で、前年度に比べて111億4,000万円、率にして5.5%の増となりました。8年連続の増額予算であり、過去最大の予算規模です。

### 予算規模

|      |                    |             |        |
|------|--------------------|-------------|--------|
| 一般会計 | 2,122億5,000万円(前年度比 | 111億4,000万円 | 5.5%)  |
| 特別会計 | 1,405億9,700万円(前年度比 | △31億9,000万円 | △2.2%) |
| 企業会計 | 188億1,200万円(前年度比   | 6億6,400万円   | 3.7%)  |
| 合計   | 3,716億5,900万円(前年度比 | 86億1,400万円  | 2.4%)  |

## 【一般会計 歳入】

一般会計のうち歳入面では、景気の回復傾向を受けて、個人市民税や固定資産税の増収により市税収入を、平成27年度予算の959億8,210万円と比較して2.3%増の981億9,430万円を見込みました。市税収入としては、過去最大となります。

普通交付税は、平成27年10月に行われた国勢調査の人口が反映されることによる基準財政需要額の増を見込み、平成27年度予算の36億円と比較して9.7%増の39億5,000万円を計上しました。

### 主な一般財源

(単位:千円、%)

| 区 分       | 28年度       | 27年度       | 増 減       | 伸び率  |
|-----------|------------|------------|-----------|------|
| 市 税       | 98,194,300 | 95,982,100 | 2,212,200 | 2.3  |
| うち個人市民税   | 43,078,000 | 42,017,000 | 1,061,000 | 2.5  |
| うち法人市民税   | 6,485,000  | 6,801,000  | △316,000  | △4.6 |
| うち固定資産税   | 35,021,000 | 33,892,500 | 1,128,500 | 3.3  |
| 地方消費税交付金  | 9,574,500  | 9,287,600  | 286,900   | 3.1  |
| 普通交付税     | 3,950,000  | 3,600,000  | 350,000   | 9.7  |
| 臨時財政対策債   | 6,120,500  | 5,070,000  | 1,050,500 | 20.7 |
| 借換債を控除後   | 4,800,000  | 5,070,000  | △270,000  | △5.3 |
| 財源調整基金繰入金 | 7,700,000  | 7,500,000  | 200,000   | 2.7  |

また、市債の発行額については、北部、南部清掃工場の建て替え、運動公園プールの整備、ふなばし三番瀬海浜公園の整備のほか、積極的に公共施設の長寿命化や都市基盤の整備を行うことから、251億7,460万円（臨時財政対策債を含む。）となっています。これは、平成27年度予算における発行額と比較して37億2,620万円の増額となります。臨時財政対策債、借換債を除く建設事業に係る市債は、181億2,550万円で、平成27年度と比較して23億7,930万円、率にして15.1%増と高い伸びとなりました。

※借換債とは、発行に際して、あらかじめ同意を得た償還期間より短い期間で資金を借り入れた市債について、満期になった時点で再度資金を借り換えるものです。

※臨時財政対策債とは、地方交付税として必要なお金が不足するため、国と地方が折半して負担するというルールに基づき発行する市債です。なお、市債の償還に係る元金と利子については、将来の地方交付税に加算されることになっています。

## 市債(一般会計)

(単位:千円、%)

| 区 分            | 28年度              | 27年度              | 増 減              | 伸び率         |
|----------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------|
| <b>建設事業債</b>   | <b>19,054,100</b> | <b>16,378,400</b> | <b>2,675,700</b> | <b>16.3</b> |
| 借換債を控除後        | 18,125,500        | 15,746,200        | 2,379,300        | 15.1        |
| <b>臨時財政対策債</b> | <b>6,120,500</b>  | <b>5,070,000</b>  | <b>1,050,500</b> | <b>20.7</b> |
| 借換債を控除後        | 4,800,000         | 5,070,000         | △270,000         | △5.3        |
| <b>計</b>       | <b>25,174,600</b> | <b>21,448,400</b> | <b>3,726,200</b> | <b>17.4</b> |
| 借換債を控除後        | 22,925,500        | 20,816,200        | 2,109,300        | 10.1        |

## 【一般会計 歳出】

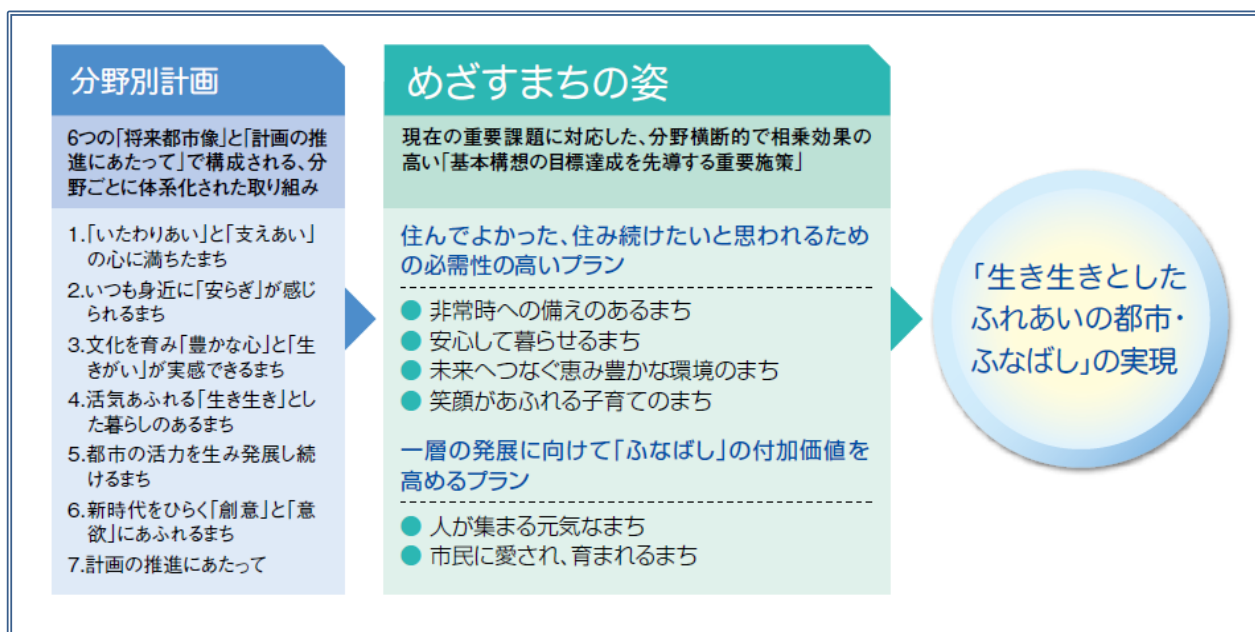
一般会計のうち歳出面では、道路や河川などの都市基盤整備、公共施設の長寿命化、北部清掃工場の建て替え、運動公園プールの整備、ふなばし三番瀬海浜公園の整備などに積極的に取り組むことにより、普通建設事業費が、対前年度比9.7%増となっています。また、子育て、高齢者福祉、保健などの経費である扶助費についても、保育所運営費、障害福祉費に係る訓練等給付費、年金生活者等支援臨時福祉給付金などの増により、対前年度比8.4%増となっています。

さらに、公債費については、借換えのための償還額の増に加えて、小中学校等の耐震改修等にあたって借り入れた市債の元金償還の据え置き期間が終了し、元金償還が始まることから、対前年度比19.6%増と大きく増えています。

### Ⅲ 主要事業の概要

#### (1) 「めざすまちの姿」とは

本市を取り巻く課題や市民のニーズを踏まえ、分野別計画に横断的な横串をさすように、特に重要なまちづくりのテーマを設定して、優先的・重点的に取り組むべき施策を抽出したものが「めざすまちの姿」です。



#### (2) 予算案における主要事業

次頁以降に、平成28年度当初予算に係る主要事業を6つの「めざすまちの姿」ごとに示します。

※予算額は、千円未満を切り上げて記載しています。

※右端の頁は、「予算参考資料」の頁を表わしています。

※○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。

※ここで紹介する事業には、複数の事業の組み合わせや、事業の一部で構成されているものもあるため、予算額や事業名が「予算参考資料」とは必ずしも一致しません。

①

## 非常時への備えのあるまち

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### **△防災行政無線の整備**

**(242,685千円) 29頁**

災害時の情報伝達に利用する防災行政無線のデジタル化を平成31年度までに計画的に進めるとともに、確実に情報を伝達するため、無線の聞き取りにくい市内3か所（馬込町、鈴身町、坪井東）に設置します。

【危機管理課】

### **●非常用備蓄品の整備**

**(26,824千円) 29頁**

小・中学校等宿泊可能避難所及び公民館等福祉避難所に必要な食料品・飲料水等を拡充・更新します。また、帰宅困難者支援施設として西船橋出張所を新たに指定し備蓄品を整備するなど、帰宅困難者対策を推進します。

【危機管理課】

### **●防災用井戸の整備**

**(2,600千円) 29頁**

災害時には上水道の断水などで、各家庭に水を供給できない可能性があることから、災害時の生活用水を確保するための防災用井戸について、新高根・芝山地区に手押し型井戸を設置します。

【危機管理課】

### **○防災士資格取得費用・災害救援ボランティア講座の受講費用を補助**

**(750千円) 29頁**

地域での防災活動を担うリーダー的な人材を育て、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織を結成した町会・自治会等から推薦のあった市民の方を対象に、防災士資格取得や災害救援ボランティア講座を受講する際の必要な経費を補助します。

【危機管理課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### **△津波避難誘導看板の整備**

**(7,500千円) 29頁**

津波が発生した際に、市民や訪問者が迷わず避難することができるように、平成27年度に策定した津波避難計画に基づく避難対象地域に、津波一時避難施設等への避難誘導看板を整備します。

【危機管理課】

### **○自主防災組織へ初期消火資機材を貸与**

**(3,740千円) 29頁・99頁**

地域防災力の充実強化のため、自主防災組織に対して排水栓を活用する初期消火資機材を貸与します。また、初期消火資機材の使い方等の訓練を地域の消防団員が指導し、自主防災組織と消防団との連携を図ります。

【危機管理課・消防局総務課】

### **△鉄道施設の耐震対策**

**(109,729千円) 87頁**

今後、発生が予想されている大規模地震による被害の未然防止や拡大防止を図るため、高架橋等の鉄道施設の耐震化事業を行う5つの鉄道事業者（東葉高速鉄道㈱、東武鉄道㈱、京成電鉄㈱、北総鉄道㈱、千葉ニュータウン鉄道㈱）に対し、費用の一部を助成します。

【都市計画課】

### **△大雨による浸水対策**

**(609,108千円) 87・89頁**

都市化に伴う雨水流出の増大に対応するため、船橋特別支援学校高根台校舎の校庭に雨水貯留浸透施設を整備します。また、準用河川木戸川や鎌ヶ谷市との連携による準用河川二和川の整備を進めるとともに、駒込川を準用河川として整備するための設計等を行います。

【下水道河川計画課・河川整備課】



①

## 非常時への備えのあるまち

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ○消防局・中央消防署合同庁舎建替え検討のための基本構想

(6,740千円) 99頁

消防局・中央消防署合同庁舎は、昭和48年に建築され現在まで消防力の充実と強化の中核を担ってきているところですが、築42年が経過し各設備の老朽化も著しいことから、建て替えのための基本構想を策定します。

【消防局総務課】

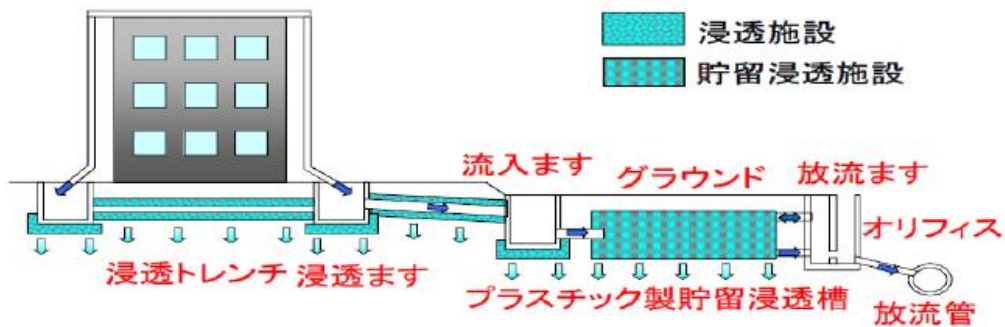
### △(仮称)東消防署古和釜分署・消防訓練場の整備

(5,647千円) 101頁

消防力の充実・強化を図るとともに、複雑多様化する各種災害の発生に備え、消防職団員の災害対応能力の向上を図るため、古和釜町・松が丘地区に消防分署及び消防訓練場の整備に着手します。

【消防局総務課】

#### 雨水貯留浸透施設のイメージ



貯留浸透槽組立中



貯留浸透槽組立完了

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### 【地域包括ケアシステムの構築】

#### △在宅医療と介護サービスとの連携の推進 (32,710千円) 143頁

保健福祉センター内の在宅医療支援拠点では、在宅医療を希望する人からの相談対応や在宅医療・介護関係者への支援等を行うとともに、「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」と連携し、在宅医療の充実、医療・介護の連携を推進します。

【健康政策課】

#### △ふなばしシルバーリハビリ体操の推進 (696千円) 59頁

健康寿命の延伸を図るため、地域でシルバーリハビリ体操教室を開催するとともに、市民を対象とした体操指導士養成講習会を開催し、体操を指導・普及する人材を養成します。

【健康づくり課】

#### △公園を活用した健康づくりの推進 (11,371千円) 59・95頁

身近な公園で手軽に出来る運動習慣を身につけ自主的な健康づくりが推進されるように、公園を活用した健康づくりを推進します。平成28年度は実施公園を平成27年度の3箇所から18箇所まで拡大します。また、新たに2箇所の公園で健康器具を整備します。

【地域保健課・公園緑地課】

#### ○高齢者生活実態調査の実施 (16,443千円) 141頁

介護保険事業計画策定の基礎となる高齢者生活実態調査のうち、高齢者基本調査について、アンケート対象者を1万人から2万人へ拡大し、地域別の課題について検討します。

【介護保険課】

#### ○地域で行う介護予防活動への支援 (13,000千円) 143頁

介護予防のために定期的に健康体操等を実施する町会・自治会・老人クラブ等に対し、活動支援のため補助金を交付します。

【健康づくり課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ○認知症初期集中支援チームの設置 (2, 851千円) 143頁

直営の地域包括支援センターに、医師や保健師等の複数の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」をモデル事業として設置することにより、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築します。

【包括支援課】

### ○認知症高齢者徘徊模擬訓練の実施 (1, 000千円) 143頁

認知症高齢者徘徊模擬訓練を市内5箇所を実施し、認知症高齢者を地域で支えていく体制を築いていきます。

【包括支援課】

### ●生活支援コーディネーターの配置 (22, 509千円) 143頁

高齢者の生活支援の担い手となるボランティアの発掘・育成を支援する生活支援コーディネーターを、平成28年度は新たに6地区を加え計11地区に配置します。

【地域福祉課】

### ○空家等対策計画の策定

(32, 577千円) 31頁

近年増加傾向にある空き家に関して、所有者等に適正な管理を促すとともに予防策や利活用を含めた総合的な観点から対策を進めるため、市内全域の空き家の実態調査を行い、有識者を中心とした協議会を組織し、空家等対策計画を策定します。

【市民安全推進課】

### ●障害者グループホーム等の支援

(106, 574千円) 33頁

障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう障害者グループホームに対する運営費等の一部助成について、賃貸にて新規開設するグループホームに対するスプリンクラー設置費にも拡大し、グループホームの整備を進め、障害者の地域移行の促進を図ります。

【障害福祉課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ●特別養護老人ホームの入所待機者対策

**(716,000千円) 39頁**

特別養護老人ホームの入所待機者対策として、施設整備をさらに円滑に進めるため、整備費の補助単価を定員1人あたり400万円から450万円に増額し、施設整備の促進を図ります。

【高齢者福祉課】

### ○骨髄移植提供者（ドナー）と事業所への支援

**(512千円) 59頁**

公益財団法人日本骨髄バンクへのドナー登録のため普及活動を行うとともに、多くの骨髄・末梢血幹細胞移植の実現に向け、移植を理由に休業する際の経済的な負担軽減を目的として、ドナーとの方が従事する事業所に奨励金を交付します。

【保健予防課】

### △歩行者等の安全対策

**(460,430千円) 85頁**

歩行者が安全に通行できる空間を確保するため、歩道を整備します。また、自転車利用者が安全で快適に利用できるよう、自転車走行箇所をカラー舗装します。さらに、生活道路の安全を確保するため、ゾーン30（※）を4箇所で開催します。

【道路建設課】

※ゾーン30：生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせる生活道路対策のこと。

### △バス停留所に上屋やベンチを整備

**(49,100千円) 85・91頁**

バスの利便性を高めることにより高齢者等の外出を支援するため、バスの停留所に上屋やベンチを整備するとともに、上屋やベンチを整備するバス事業者に対し費用を助成することにより、20箇所で開催環境の改善を図ります。

【都市計画課・道路建設課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### △鉄道駅のバリアフリー化

(76,666千円) 87頁

高齢者や障害者等の移動の円滑化を図るため、鉄道駅のバリアフリー化事業を行う3つの鉄道事業者（東日本旅客鉄道㈱、京成電鉄㈱、新京成電鉄㈱）に対し、費用の一部を助成します。

【都市計画課】

### △公共交通不便地域の解消

(44,549千円) 91頁

公共交通の不便な地域を解消するため、現在、3地区（八木が谷、丸山、田喜野井）で路線バスの本格運行を実施していますが、新たに二和地区での試験運行を実施するバス事業者に対し、費用の一部を助成します。

【都市計画課】

### ○高齢者の住環境改善

(23,913千円) 97頁

高齢者が可能な限り自立して住み続けられるよう、住環境を改善するため、住み替えをする際の転居に係る費用や介護予防となるバリアフリー改修等に係る費用の一部を助成します。また、様々な課題に対する支援体制を構築するため、居住支援協議会の設立準備を始めます。

【住宅政策課】

### ○人間ドック受診費用の助成

(92,560千円) 125頁

健康診査の受診機会拡大と受診者の利便性向上のため、船橋市国民健康保険の被保険者で40歳以上の方及び後期高齢者医療制度の被保険者の方が、医療機関等で人間ドックを受診した場合にその費用の一部を助成します。

【健康づくり課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### **△防犯灯・街路灯等のLED化促進**

**(326,007千円) 29・75・85頁**

省エネルギー効果と防犯効果を高めるため、町会・自治会の防犯灯や商店会の街路灯、市の道路照明灯のLED化を促進・推進します。

【自治振興課・商工振興課・道路管理課】

### **△馬込霊園の整備**

**(25,773千円) 61頁**

第5次整備計画に向けて周辺道路の渋滞緩和のため、アクセス通路の詳細設計を行い、平成31年度のアクセス通路及び合葬式墓地等の供用開始を目指します。

【環境保全課】

### **△生物多様性地域戦略の策定**

**(3,823千円) 63頁**

都市化や地球温暖化、外来生物等により市内の自然環境が変わっていく中、自然環境調査の結果をもとに、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な事項を定める生物多様性地域戦略を策定します。

【環境政策課】

### **△ふなばし三番瀬環境学習館の整備**

**(2,302,120千円) 63・95頁**

四季を通じて三番瀬の仕組みや生物、歴史、営みをテーマにした展示物や体験コーナー等、三番瀬さらには広く環境について学ぶことができる施設の整備を進め、平成29年7月のオープンを目指します。

【環境政策課・公園緑地課】

③

## 未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

**△北部清掃工場・南部清掃工場の建て替え****(8,375,780千円) 67頁**

北部清掃工場は、平成25年度からDBO(※)方式による建て替えを進めており、余熱利用施設と併せて平成29年4月からの稼働を目指します。また、南部清掃工場もDBO方式による建て替えにより、平成32年4月の稼働を目指し、工事に着手します。

【資源循環課】

※DBO (Design Build Operate) : 公共が資金調達を行い、設計・建設・運営を一括して民間に発注する方式のこと。

**△都市公園の整備****(442,685千円) 93頁**

市民の憩いの場になるとともに、防災面からも重要な公園の拡充を図るため、5つの公園((仮称)大穴近隣公園、(仮称)海神5丁目公園、(仮称)本町1丁目公園、(仮称)海神1丁目公園、(仮称)上山町2丁目3号公園)を整備します。

【公園緑地課】



平成29年7月のオープンを目指す「ふなばし三番瀬環境学習館」

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ○ボール遊びができる公園の試行

(4, 315千円) 93・95頁

こども未来会議室で中学生から提案のあった「ボール遊びができる公園をつくり、スポーツがより盛んなまちへ」の実現に向けた試行を5つの公園（田喜野井公園、夏見台近隣公園、大穴第2号公園、西船みどり公園、本町4丁目広場公園）で実施します。

【公園緑地課】

### △アンデルセン公園の整備

(108, 160千円) 93・95頁

全国から大勢の人に訪れていただいているアンデルセン公園の魅力をさらに高めるため、自然体験ゾーンに休憩施設を整備します。また、多くの来園者が見込まれる時期の対策として、公共交通機関の利用促進や臨時駐車場の確保等により、周辺道路の渋滞緩和に努めます。

【公園緑地課】

### 【再生可能エネルギーの活用推進】

#### △小水力発電設備

(9, 000千円) 129頁

西浦下水処理場では、実証実験を行っている放流水の落差を利用した小水力発電を引き続き行います。また、高瀬下水処理場では、発電設備を設置するための設計を行います。

【下水道施設課】

#### △バイオマス設備

(36, 433千円) 129頁

西浦下水処理場では、消化ガスによる発電を行う事業者を選定します。また、高瀬下水処理場では、将来的なバイオマス（※）有効利用に向けた基本構想を策定します。

【下水道施設課】

※バイオマス：バイオマスは、英語のbio（生物資源）mass（量）を表す。

発電の燃料となるバイオマスには様々な種類があり、木質資源、下水汚泥、家畜糞尿、食物残さ等の動植物から生まれた再生可能な有機性資源を言う。



《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### 【待機児童の解消】

#### △認証保育所への助成 (417,358千円) 43頁

市が定める一定の基準を満たした認可外保育施設を認証保育所として認証し、施設運営費や保育料に対する助成を行います。

【保育認定課】

#### △市内で働く保育士への家賃補助

(166,132千円) 43・45・53頁

市内の私立保育園、認定こども園、小規模保育事業所が、勤務する保育士のために宿舍（アパート等）を借上げた場合に補助します。

【保育認定課】

#### △保育士の確保 (25,754千円) 45頁

保育士の確保のため、市内の保育所等で勤務をしようとする指定保育士養成施設の学生を対象に、修学期間以上勤務すると、貸付金の返還を全額免除する修学資金の貸し付けを行います。また、保育士としての就職を希望する学生や、保育士の資格を持ちながら現在保育士として働いていない方などを対象に、就職に向けたアドバイス等を行う研修会を開催します。

【保育認定課】

#### △小規模保育事業所の整備促進 (115,493千円) 45頁

待機児童の大半が1～2歳の子供であることを踏まえ、認可保育所の整備促進のほか、満3歳未満の子供を対象とする小規模保育事業所の整備を促進します。

【子ども政策課】

#### △認可保育所の整備促進 (1,103,756千円) 53頁

待機児童が特に多い鉄道沿線等を重点化して、定員1,000人程度の規模で認可保育所の施設整備を促進します。

【子ども政策課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ●学習支援事業

(61,381千円) 33頁

学力向上を図り、高校進学への支援を行うため、生活困窮世帯・生活保護世帯・ひとり親世帯等の中学生に対して実施している学習支援事業について、利用者の利便性と安全性を考慮し実施場所を2箇所から4箇所に増やします。

【地域福祉課】

### △児童相談所の設置に関する調査・検討

(580千円) 43頁

国において中核市への児童相談所の必置などが議論されていることから、議論の動向を注視し、引き続き調査・検討していきます。

また、市川児童相談所へ職員を派遣し、児童相談所の業務を行う職員の視点から検証を行います。

【児童家庭課】

### ○(仮称)坪井児童ホームの整備

(86,166千円) 49頁

乳幼児親子や小学生等が自由に遊べる場を提供するとともに、子育て支援や児童健全育成の充実を図るため、坪井地区に児童ホームを整備する用地を取得し、設計に着手します。

【地域子育て支援課】

### ●放課後ルームの整備

(236,723千円) 49頁

放課後、家庭で子供だけになってしまう小学生の遊びと生活の場となる放課後ルームの待機児童の解消を目指し、宮本、西海神、飯山満南、法典東の各放課後ルームについて、定員拡大を図るための整備を行います。

【地域子育て支援課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ●市立保育所等の整備

(788, 543千円) 51頁

宮本9丁目の国家公務員宿舎跡地を保育所用地として取得し、園舎を整備します。この園舎は、大規模改修を予定している宮本第二保育園の工事期間中は仮園舎として利用し、工事完了後は認可保育所等として民間事業者に貸し付けます。また、耐震化のため、本町・海神第一・緑台保育園の建て替えを行います。

【公立保育園管理課】

### ○親世帯と子世帯の近居・同居を支援

(6, 500千円) 97頁

離れて暮らす親世帯と子世帯が、近居もしくは同居することで、子育てや介護等を相互に協力し、安心して住み続けられるよう、住宅確保に係る費用の一部を助成します。

【住宅政策課】

### ●小・中学校特別支援学級を開設

(26, 081千円) 103頁

障害のある児童・生徒の適切な指導及び必要な支援の充実を図るため、自閉症・情緒障害特別支援学級を行田西小学校及び二宮中学校に開設します。また、言語障害通級指導教室を習志野台第一小学校に開設します。

【総合教育センター】

### ○主権者教育の推進

(1, 639千円) 105頁

市の教育大綱で示す、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していくための主権者教育を進めるため、姉妹都市デンマークのオーデンセ市から講師を招き、研修会等を開催します。

【総合教育センター】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ●小・中学校 ICT環境の整備

(37,381千円) 105・107頁

市立小・中学校のICT環境整備について、坪井小学校・古和釜中学校をモデル校として導入した結果を踏まえて計画的に進めます。平成28年度は、モデル校を除く全市立中学校の2年生を対象にデジタル教科書（5教科）・電子黒板を整備します。

【総合教育センター】

### △小・中学校校舎の改修

(2,281,633千円) 105・107頁

老朽化した市立小・中学校の校舎の外壁・屋上防水改修（小学校3校・中学校2校）及びトイレ改修（小学校10校・中学校6校）を実施します。また、計画的にトイレや体育館天井等を改修していくための設計を行います。

【施設課】

### ○特別支援学校校舎の増築

(37,500千円) 109頁

特別支援学校の児童数増加に伴う教室不足に対応するため高根台校舎（小学部）において、増築のための設計に着手します。

【施設課】

### △放課後子供教室の推進

(446,861千円) 111頁

放課後や夏休み等の子供の安心・安全な活動場所を確保するため、新たに市立小学校23校で放課後子供教室を開設し、全市立小学校54校で実施します。また、登録料を無料とし、児童が登録・参加のしやすい環境を整備します。

【教育総務課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### △市有地の活用検討

(15,000千円) 27頁

臨海部の玄関口として相応しい土地利用等を図るため、JR南船橋駅南口及び浜町2丁目の市有地について、活用方法や事業手法等を具体的に検討します。

【政策企画課】

### △JR船橋駅南口周辺部と臨海部エリアの回遊性創出

(21,000千円) 27・85頁

中心市街地と臨海部エリアの回遊性を創出するため、新たな移動手段の可能性や親水空間の活用について検討します。また、市道14-073号線（通称「山口横丁」）の整備に向けた検討を進めます。

【政策企画課・道路建設課】

### ○農業振興計画の策定

(5,670千円) 71頁

農業政策の新たな変化への対応と今後の都市農業の振興を図るため、目標や実現に向けた施策を定めた新たな農業振興計画を平成29年度までに策定します。

【農水産課】

### ○耕作放棄地解消の検討

(789千円) 71頁

耕作放棄地を解消するため、モデル地区を設定し、農地への復元を図る取り組みを引き続き行うとともに、新たに外部有識者を含めた会議を組織し、市民農園としての活用について検討します。

【農水産課・農業委員会事務局】

### △船橋産農産物の認知度向上活動

(24,266千円) 71頁

「船橋にんじん」や「船橋のなし」、小松菜、枝豆等の船橋産農産物の認知度向上を図るため、東京スカイツリーソラマチ広場や有楽町駅前広場、札幌ドーム等でトップセールスを行います。

【農水産課】

⑤

## 人が集まる元気なまち

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ○漁業後継者育成の支援

( 9, 4 0 0 千円 ) 7 3 頁

次代の漁業者を育成し、永続的な漁業の振興を図るため、漁業後継者や新規漁業者が行う高性能漁具を整備する費用や新規漁業者研修に係る費用の一部を助成します。

【農水産課】

### ○三番瀬漁場の青潮対策

( 1 2, 9 1 5 千円 ) 7 3 頁

漁業環境を改善するため、青潮対策として効果が高いとされている水流発生装置の設置に係る費用の一部を助成します。

【農水産課】

### △ふなばし産品ブランドの認証

( 2 0, 7 3 6 千円 ) 7 7 頁

船橋ブランドの創出及び確立を図るため、2回目の工業・工芸品を認証します。また、東京都千代田区丸の内にある「KITTE」内に期間限定のアンテナショップを出店し、「ふなばし産品ブランド」の周知を図ります。

【商工振興課】

### 【商工業戦略プランの推進】

#### ○商店街の賑わいづくり

( 8, 0 5 0 千円 ) 7 5 頁

商店街を消費者や地域との交流の場等にするため、商店会が行う地域貢献につながるまちづくりモデル事業等に係る費用の一部を助成します。

【商工振興課】

#### ○ベンチャー企業の販路開拓支援

( 6 2 6 千円 ) 7 7 頁

ベンチャー企業等が開発した新規性のある製品を「優れたものづくり製品」として認定し、冊子等により周知を図ります。また、認定品を市が試用することで、販路開拓につなげます。

【商工振興課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

**○共同ビジネスマッチングの実施** (11,000千円) 79頁

企業の販路拡大を図るため、専任コーディネーターによる企業情報の収集や事業者ニーズに最適な企業紹介等を行う船橋商工会議所に対し、費用を助成します。

【商工振興課】

**○創業実践塾の開催** (2,248千円) 79頁

創業や第二創業を確実なものにするため、ICT活用や会計知識等の実践的な経営知識を学べる創業実践塾を開催します。

【商工振興課】

**○海外販路拡大の支援** (660千円) 79頁

海外への販路拡大を図るため、海外展示会出展に係る費用や専門家のサポートを受ける際に係る費用の一部を助成します。

【商工振興課】

**○JR船橋駅北口ペDESTリアンデッキ等の改修**

(69,300千円) 83頁

歩行者の安全を確保するため、現状調査の結果をもとに、駅前広場とペDESTリアンデッキの改修に着手します。

【道路管理課】

**○立地適正化計画の検討**

(4,480千円) 89頁

今後の人口構成や社会経済情勢の変化に的確に対応するため、市の現状を把握・整理するとともに、将来の都市構造の課題を整理・分析し、立地適正化計画の策定に向けた検討を行います。

【都市総務課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### △JR船橋駅南口駅前の整備

(779,840千円) 91・93頁

中心市街地の円滑な交通を確保するため、京成本線高架から南口駅前広場まで、都市計画道路3・4・11号線の整備に着手します。また、市の情報発信を積極的に行い回遊の拠点にするため、本町4丁目市有地に民間活力によるインフォメーションセンター機能を整備します。

【政策企画課・商工振興課・都市整備課・街路課】

### △運動公園プールの整備

(1,783,590千円) 95頁

レクリエーション機能を持たせた魅力ある施設の整備を進め、平成29年7月のオープンを目指します。また、オープンに向け、夏見台6丁目に約300台の駐車場を整備します。

【公園緑地課】



平成29年7月のオープンを目指す「運動公園プール」



《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### △姉妹都市等記念事業

(14,699千円) 25頁

平成28年度はヘイワード市と姉妹都市提携30周年にあたるため、ヘイワード市から代表団等を招へいし、交流の歩みを祝うとともに、双方の都市の市民交流を図ります。また、平成29年は日本・デンマーク外交関係樹立150周年にあたるため、その記念事業に参加するため、文化団を派遣します。

【国際交流室】

### ○オリジナルナンバープレートの作製

(1,458千円) 31頁

本市をホームタウンとするプロバスケットボールチームの「千葉ジェッツ」が、より地元に着目し、市民に愛着を持っていただけるよう、原動機付自転車の千葉ジェッツオリジナルナンバープレートを作製します。

【市民税課】

### ○子供たちが文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供

(449千円) 109頁

一般財団法人吉澤野球博物館からの寄附金を原資に創設する「文化振興基金」の運用収入を活用して、子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験できるように、芸術家等を市内の小・中学校等に派遣します。

【文化課】

### ○取掛西貝塚の保存・整備に向けた調査

(2,805千円) 109頁

文化財保護の観点から、全国的にも希少な縄文時代早期前半（約1万年前）の貝塚である取掛西貝塚（飯山満町1丁目）の保存・整備に向けて分布調査を実施します。

【文化課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### △文化芸術振興基本方針を策定

(1, 201千円) 109頁

文化芸術の振興に関する施策を総合的に推進するため、平成27年度から着手してきた文化芸術振興基本方針を平成28年度中に策定します。

【文化課】

### △ふなばし音楽フェスティバル

(15, 310千円) 109頁

JR船橋駅周辺の屋内・屋外会場でライブを行う「ふなばしミュージックストリート」をはじめ、「音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭」や「地域ふれあいコンサート」など、多くの市民が音楽を楽しむ機会を提供します。

【文化課】

### ○総合体育館へのスポーツ資料展示室整備

(88, 435千円) 109・115頁

一般財団法人吉澤野球博物館より譲り受けた貴重な所蔵品を常設展示する展示室等を、船橋アリーナ内に整備します。また、展示室が整備されるまでの間、それらの野球史料及び美術品を活用し、市民ギャラリー等で企画展を開催します。

【文化課・生涯スポーツ課】

### ○東部公民館の建て替えに向けた基本構想策定

(12, 000千円) 111頁

老朽化している東部公民館の建て替えに向け、公民館の適正規模や新施設に持たせる複合機能、事業手法について検討を行い、基本構想を策定します。

【社会教育課】

### △西図書館のリニューアルオープン

(443, 576千円) 111頁

平成28年10月の新西図書館開館に向け、引き続き建替工事を行います。新西図書館では開館時間を延長し、予約制の学習コーナーやインターネットコーナーを設置するなど、利用者が使いやすい環境を整えます。

【社会教育課】

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ○図書館サービスの向上

**(98,200千円) 111頁**

図書館利用者の利便性向上のため、蔵書データ等を記録したICタグを図書に貼り付け、自動貸し出し・自動返却などを行えるようにし、貸し出し手続き等の迅速化を図ります。また、民間活力の活用による図書館サービスの向上を図るため、平成29年4月からの中央・東・北図書館への指定管理者制度導入に向け、事業者の選定を行います。

【社会教育課・中央図書館】

### △郷土資料館の改修

**(369,996千円) 113頁**

開館以来40年以上経過した郷土資料館の耐震改修、バリアフリー工事などを行います。併せて、展示設備を全面的に見直し、より魅力的な施設として平成29年4月のリニューアルオープンを目指します。

【郷土資料館】

### △高瀬下水処理場上部に多目的運動広場の整備

**(485,498千円) 117・129頁**

高瀬下水処理場の上部を活用し、サッカー等多目的に利用できる運動広場の整備を進め、平成28年10月のオープンを目指します。

【生涯スポーツ課・下水道施設課】



平成28年10月の開館を目指す「西図書館」

## 新たな事業への取り組み

《○は新規事業、●は制度拡大事業、△は継続事業です。》

### ○海老川上流地区のまちづくり検討

(18,000千円) 89頁

市の中央部に位置し、中心市街地にも近く東葉高速線が東西に走るといふ多くの地理的利点がある海老川上流地区において、自然との調和を図りながら医療・福祉機能をまちの中核とする新たなまちづくりに着手するため、概略の事業計画を検討します。

【都市総務課】

### ○医療センター建て替えの検討

(9,532千円) 57頁

昭和58年に開院した船橋市立医療センターの老朽化等に伴う建て替えに向け、基本構想等を策定します。

【健康政策課】